

歯科保存学2

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	小方 頼昌 (歯周治療学)

学修目標 (G I O) と単位数	<p>単位数：2単位</p> <p>G I O：歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、また、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するために、正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応、治療に用いる材料など、今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p>
評価方法 (E V)	<p>1. 保存修復学の評価は、以下の評価割合で判定する（保存学2の1/3の評価分）</p> <p>1) 講義に関する平常試験を2回実施し、その成績評価の90%。原則的に平常試験の追再試験は実施しない。</p> <p>2) 実習に関する試験を実施し、その成績評価の10%。</p> <p>2. 歯内療法学の評価保存学2の1/3の評価分）。</p> <p>平常試験①、②による評価。原則的に追再試験は実施しない。</p> <p>3. 歯周治療学の評価保存学2の1/3の評価分）。</p> <p>平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験は実施しない。</p> <p>4. 1/5以上欠席した場合、評価点は0～60点とする。</p>

歯周治療学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	前学期	小方 頼昌 (歯周治療学)

学修ユニット学修目標 (G I O)	<p>日本の全年齢層において、約80%の人が歯周病に罹患しており、その罹患率を年齢別にみると20歳前後で65%、50歳前後では90%以上になる。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように、歯周病を予防または治療することを目的とする。重度慢性歯周炎または侵襲性歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な検査の実施および診断、治療計画の立案と歯周基本治療および歯周外科治療を行うことが要求される。そのために、歯周治療学の知識、技能を習得する。4年次では、歯周外科治療、メンテナンスおよびサポータティブペリオドンタルセラピーについて学び、次年度の臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。</p>
担当教員	小方 頼昌、中山 洋平、吉野 祥一、高井 英樹、目澤 優、加藤 彩子、井上 英子、蔦森 麻衣、相羽 悠喜子、山田 真莉子、内之浦 理奈、井澤 侑美、齋藤 由未、※鈴木 真名、※若林 健史
教科書	臨床歯周病学 第2版 吉江弘正ほか 医歯薬出版 歯周治療学実習帳 歯周治療学講座編
参考図書	ザ・ペリオドントロジー 和泉雄一ほか 永末書店 コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 鴨井久一ほか 西村書店 プリベンティブペリオドントロジー 鴨井久一ほか 医歯薬出版 ラタイチャークカラーアトラス歯周病学 第3版 日本臨床歯周病学会 永末書店
実習器材	顎歯模型、歯周外科治療用器具一式
評価方法 (E V)	平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験は実施しない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>歯周治療は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみ学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。</p> <p>実習では、臨床の場を想定して主にファントム（マネキン）実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。</p> <p>講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/11 (火)	歯周実習 1-⑦	【授業の一般目標】	小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:10～14:40	歯周外科総論 歯周ポケット搔爬術 歯肉切除術	<p>歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 2. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	<p>中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史</p>
2017/04/11 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 1-⑦ 歯周外科総論 歯周ポケット搔爬術 歯肉切除術	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 2. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	<p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史</p>
2017/04/18 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 2-⑧ 新付着術 (ENAP) 縫合	<p>【授業の一般目標】 新付着術 (ENAP) の術式と適応を理解する。縫合法の種類および方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 新付着術 (ENAP) の術式を説明できる。 2. 縫合法の種類を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 新付着術 (ENAP) の術式と縫合法の種類を予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	<p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/18 (火) 3時限 13:10~14:40	歯周実習 2-⑧ 新付着術 (ENAP) 縫合	302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 エ 縫合法 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 井上 麻衣 相羽 悠喜 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/04/18 (火) 4時限 14:50~16:20	歯周実習 2-⑧ 新付着術 (ENAP) 縫合	【授業の一般目標】 新付着術 (ENAP) の術式と適応を理解する。縫合法の種類および方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 新付着術 (ENAP) の術式を説明できる。 2. 縫合法の種類を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 新付着術 (ENAP) の術式と縫合法の種類を予習する。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 エ 縫合法 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 麻衣 井上 英子 相羽 悠喜 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/04/25 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周客員教授講義 マイクロスコープ と歯周形成外科手術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類を説明できる。歯周形成外科手術の適応と禁忌を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周形成外科手術の種類、適応と禁忌を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯周形成外科手術について予習する。(目安時間 45分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、302教室 パワーポイントまたはキーノート 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 オ 使用器材、取扱法 a 基本的器材 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療	鈴木 真名 小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/25 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周客員教授講義 マイクロスコープ と歯周形成外科手術	*④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 *⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	鈴木 真名 小方 頼昌
2017/04/25 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 3-⑨ 咬合治療 暫間固定 根分岐部病変の処置 歯肉剥離掻爬手術 (1) 切開線の記入	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1.咬合調整の方法を説明できる。 2.暫間固定の目的を説明できる。 3.根分岐部病変の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 暫間固定と根分岐部病変に対する処置法について予習をする。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 カ 根分岐部病変の治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 ウ 咬合性外傷に対する治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(3) 歯周疾患の診断と治療 ⑦歯周疾患の簡単な症例を処置できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/04/25 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 3-⑨ 咬合治療 暫間固定 根分岐部病変の処置 歯肉剥離掻爬手術 (1) 切開線の記入	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1.咬合調整の方法について説明できる。 2.暫間固定の目的を説明できる。 3.根分岐部病変の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 暫間固定と根分岐部病変に対する処置法について予習をする。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 カ 根分岐部病変の治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 ウ 咬合性外傷に対する治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(3) 歯周疾患の診断と治療 ⑦歯周疾患の簡単な症例を処置できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/05/02 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 4-⑩ 歯肉剥離掻爬手術 ② 剥離、掻爬、スケー リング・ルートブ レーニング、骨整 形、縫合	【授業の一般目標】 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離掻爬手術に使用する器具の名称と使用法を説明できる。 歯槽骨に対する処置 (骨整形、骨削除、骨移植) について学ぶ。歯肉剥離掻爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1.歯肉剥離手術の術式を説明できる。 2.歯肉剥離掻爬手術に使用する器具を説明できる。 3.歯肉剥離掻爬手術の縫合法を説明できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/02 (火) 3時限 13:10~14:40	歯周実習 4-⑩ 歯肉剥離搔爬手術 ② 剥離、搔爬、スケーリング・ルートプレーニング、骨整形、縫合	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯肉剥離搔爬手術に関する内容について予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 ア 消毒と滅菌 イ 切開法 エ 縫合法 ケ 創傷の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/05/02 (火) 4時限 14:50~16:20	歯周実習 4-⑩ 歯肉剥離搔爬手術 ② 剥離、搔爬、スケーリング・ルートプレーニング、骨整形、縫合	<p>【授業の一般目標】 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離搔爬手術に使用する器具の名称と使用法を説明できる。 歯槽骨に対する処置(骨整形、骨削除、骨移植)について学ぶ。歯肉剥離搔爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯肉剥離手術の術式を説明できる。 2. 歯肉剥離搔爬手術に使用する器具を説明できる。 3. 歯肉剥離搔爬手術の縫合法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯肉剥離搔爬手術に関する内容について理解する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 ア 消毒と滅菌 イ 切開法 エ 縫合法 ケ 創傷の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/05/09 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周講義① 初診からサポートイペリオドンタルセラピーまで①	<p>【授業の一般目標】 初診からサポートイペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周治療全般を再復習する。(目安時間 45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p>	中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/09 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義① 初診からサポータ イブペリオドンタ ルセラピーまで①	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくプラークコントロールができる。 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	中山 洋平
2017/05/09 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習5-① 歯周形成外科手術 (1)遊離歯肉移 植術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 遊離歯肉移植術の適応、術式を予習する。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/05/09 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習5-① 歯周形成外科手術 (1)遊離歯肉移 植術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 遊離歯肉移植術の適応、術式を予習する。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/09 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 5-① 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	総論 X 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/05/16 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義② 初診からサポータ イペリオドンタル セラピーまで②	【授業の一般目標】 初診からサポータイペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の流れを理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯周治療全般について再復習する。(目安時間 45分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、302教室 板書とパワーポイント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくブラークコントロールができる。 ④適切なスクリーニング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	高井 英樹
2017/05/16 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 6-② 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 結合組織移植術の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 結合組織移植術に関して予習する。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 総論 X 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/16 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 6-② 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 結合組織移植術の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 結合組織移植術に関して予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/05/23 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義③ 初診からサポータ ィペリオドンタル セラピーまで③	<p>【授業の一般目標】 初診からサポータィペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周治療全般について再復習する。(目安時間 45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、302教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくプラークコントロールができる。 ④適切なスクレーピング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。 ⑥歯周外科手術の介助が適切にできる。</p>	目澤 優
2017/05/23 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 7-③ 歯周組織再生誘導 法 画像診断 SP T・メンテナンス	<p>【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法的位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータィペリオドンタルセラピー (SPT) とメンテナンスの重要性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周組織再生誘導法について説明できる。 2. 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周組織再生誘導法に適応を学習する。SPTとメンテナンスの違いを理解す</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/23 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 7-③ 歯周組織再生誘導法 画像診断 SP T・メンテナンス	る。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 オ 画像検査 a エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、造影検査) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ⑨歯周治療後の適切なメンテナンスができる。【歯周疾患の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】 F 臨床実習 F-3 画像検査 ①放射線検査の必要性について説明できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 佑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/05/23 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 7-③ 歯周組織再生誘導法 画像診断 SP T・メンテナンス	【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法的位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータイプペリオドントセラピー (SPT) とメンテナンスの重要性について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周組織再生誘導法について説明できる。 2. 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯周組織再生誘導法に適応を学習する。SPTとメンテナンスの違いを理解する。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、302教室 板書とパワーポイント 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 オ 画像検査 a エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、造影検査) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ⑨歯周治療後の適切なメンテナンスができる。【歯周疾患の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】 F 臨床実習 F-3 画像検査 ①放射線検査の必要性について説明できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 佑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/06/06 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周まとめ試験	【授業の一般目標】 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯周治療全般について復習を行う。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、302教室	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/06 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周まとめ試験	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 *③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 藤 優彩子
2017/06/06 (火) 3時限 13:10~14:40	歯周実習8-⑭ 実技試験 歯周治療学総括講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周治療全般の復習を行う。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、302教室、第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 *③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 藤 優彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/06/06 (火) 4時限 14:50~16:20	歯周実習8-⑭ 実技試験 歯周治療学総括講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周治療全般の復習を行う。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、302教室、第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 オ 歯周組織再生治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 藤 優彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/06 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習8-④ 実技試験 歯周治療学総括講義	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 井上 麻衣 相羽 悠喜 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 若林 健史
2017/09/05 (火) 3時限 13:10～14:40	歯科保存学2 まとめ試験 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れを理解し、種々の症例に的確に対応できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の流れを理解する。 2. 歯周基本治療および外科治療で実施する内容を説明できる。 3. 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。 4. 歯周治療で使用する器具の名称と目的を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科保存学1および2で学んだことを総復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、302教室 平常試験</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *①歯周疾患の症状を説明できる。【疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。【検査法、メンテナンス法を含む。】 *③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 *④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。 *⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 *⑥歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 ⑦歯周疾患の簡単な症例を処置できる。 ⑧歯周外科手術の介助を適切にできる。 ⑨歯周治療後の適切なメンテナンスができる。【歯周疾患の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子

保存修復学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	前学期	平山 聡司 (保存修復学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	保存修復学は、歯の硬組織に生じた部分的な欠損や病変の診断と治療法を学び、修復した歯をできるだけ長期間、機能的且つ審美的に良好な状態で口腔内に保たせることを目的とする学問である。 4年次では、3年次で学修した歯科保存学1の基礎的知識の深化と確立を図るとともに、5次年からの充実した臨床実習に向け、臨床術式や問題解決について理解することを目的とする。
担当教員	平山 聡司、神谷 直孝、岡田 珠美、岩井 啓寿、寺中 文子、中島 光、大塚 一聖
教科書	保存修復学 第6版 千田 彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 [編] 医歯薬出版
参考図書	第五版 保存修復学21 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 [監修] 永末書店 保存修復サイドリーダー 河野善治、平山聡司、鈴木英明 学建書院
評価方法 (EV)	保存修復における評価は以下の評価割合で判定する。 1) 講義に関する平常試験を2回実施し、その成績評価の90%。 なお、平常試験の追・再試験は行わない。 2) 実習に関する試験を実施し、その成績評価の10%。
学生への メッセージ オフィスアワー	3年生で学修した保存修復学のまとめ講義と実習である。繰り返し学習することにより知識の深化を図ることが大切である。 なお、オフィスアワーは、講義日の午後5時から教授室にて実施する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/30 (火) 2時限 10:40~12:10	保存修復講義① - 歯の硬組織疾患と 齶蝕の病因・病態 -	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置方針が立案できるようになるために、齶蝕の病因・病態と齶蝕以外の硬組織欠損の原因と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕の発症メカニズムについて説明できる。 2. エナメル質齶蝕の特徴について説明できる。 3. 象牙質齶蝕の特徴について説明できる。 4. セメント質齶蝕の特徴について説明できる。 5. 歯の硬組織疾患を列挙し、その特徴について説明できる。 6. 歯の硬組織疾患の原因について説明できる。 7. 歯の硬組織疾患の治療方針について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 エナメル質、象牙質、セメント質の正常構造と機能について学修する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 ピア・インストラクション</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齶蝕 ウ 歯の損耗 <Tooth Wear></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *①う蝕の症状と診断を説明できる。【検査法を含む】 *②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。【う蝕の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】 *③tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。</p>	平山 聡司
2017/06/13 (火) 2時限 10:40~12:10	保存修復講義② 一硬組織疾患の検査 法と修復前準備 -	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な診断と処置が行えるようになるために、硬組織疾患の検査法と修復前処置について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 修復治療の診断に必要な検査法を説明できる。 2. 検査に必要な器具の名称と使用方法について説明できる。 3. 修復前準備の種類とその目的について説明できる。 4. 修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。</p>	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/13 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義② 一硬組織疾患の検査法と修復前準備	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 硬組織欠損の種類と特徴について学修する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 a 歯の検査（硬組織、歯髄）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ア 歯の硬組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *③う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	平山 聡司
2017/06/20 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義③ - 窩洞の名称と分類、 窩洞の具備条件	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置が行えるようになるために、修復方法に応じた窩洞の具備条件について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 修復方法に応じた窩洞の具備条件を列挙できる。 2. 修復方法に応じた窩洞外形の規定因子について説明できる。 3. 修復法に応じた保持形態について説明できる。 4. 修復法に応じた抵抗形態について説明できる。 5. 修復法に応じた便宜形態について説明できる。 6. 修復法に応じた窩縁形態について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 窩洞の分類、窩壁の名称、線角・点角、窩洞外形の規定因子について学修する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	平山 聡司
2017/06/27 (火) 2時限 10:40～12:10	平常試験 1 保存 修復	<p>【授業の一般目標】 修復講義①～③の範囲についてMCQによる試験を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 修復講義①～③の復習 準備学修時間3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/27 (火) 2時限 10:40～12:10	平常試験1 保存修復		平山 聡司
2017/07/04 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義④ －接着修復－	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置が行えるようになるために、接着性修復法の特徴と歯質接着システムおよび臨床術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コンポジットレジン修復法の術式について説明できる。 2. コンポジットレジンの歯質接着システムについて説明できる。 3. コントラクションギャップについて説明できる。 4. 重合収縮応力の緩和方法について説明できる。 5. 従来型とレジン添加型グラスアイオノマーセメントの特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 コンポジットレジンの組成と接着システムについて学修する。 グラスアイオノマーセメントの成分と特徴について学修する。 準備学修時間40分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 13 歯科接着技術・機器 ア エナメル質被着面処理 イ 象牙質被着面処理 ウ セラミックス被着面処理 エ 金属被着面処理 14 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー イ グラスアイオノマーセメント</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *④MI (Minimal Intervention) に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	平山 聡司
2017/07/11 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義⑤ －変色歯、破折歯 および象牙質知覚過敏に対する処置－	<p>【授業の一般目標】 変色歯、破折歯および象牙質知覚過敏に対する適切な処置が行えるようになるために、その原因と診断および臨床術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 生活歯の漂白法の種類とその特徴について説明できる。 2. 生活歯漂白の術式を説明できる。 3. 歯の破折の診断とその処置法について説明できる。 4. 象牙質知覚過敏症の治療方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 変色歯の原因について学修する。 歯の破折の検査法について学修する。 象牙質知覚過敏症の特徴について学修する。 準備学修時間30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 オ 歯の変色・着色</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 カ 歯の亀裂・破折、脱臼</p>	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/11 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義⑤ －変色歯、破折歯 および象牙質知覚 過敏に対する処置 －	3 歯の硬組織疾患の治療 オ 象牙質・歯髄保護法 キ 歯の漂白 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。 E-3-3) - (4) 象牙質知覚過敏症の診断と治療 ②象牙質知覚過敏症を適切に処置できる。	平山 聡司
2017/07/11 (火) 3時限 13:10～14:40	保存修復実習 ー 保存修復処置の基 本的術式①ー	【授業の一般目標】 適切な齶蝕象牙質の除去が行えるようになるために、除去すべき齶蝕象牙質の 検知と齶蝕除去に使用する切削器具の使用法および術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕象牙質の外層と内層について説明できる。 2. 齶蝕検知液による齶蝕象牙質の染め分け意義について説明できる。 3. 齶蝕象牙質の除去に使用する切削器具を列挙できる。 4. 齶蝕象牙質の除去に使用する切削器具が適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 齶蝕象牙質の外層・内層の意義について学修する。 齶蝕象牙質除去の術式と使用器具について学修する。 準備学修時間40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 反転授業 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齶蝕 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明でき る。 ⑩う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。	平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖
2017/07/11 (火) 4時限 14:50～16:20	保存修復実習 ー 保存修復処置の基 本的術式②ー	【授業の一般目標】 硬組織欠損に対する適切な修復処置が行えるようになるために、マトリックス リテーナーによる隔壁の設置と接着システムの使用手順、単純窩洞のレジン充 填に使用する器具の使用法および術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. タッフルマイヤー型マトリックスリテーナーによる隔壁の設置ができる。 2. コンポジットレジン修復の臨床術式を説明できる。 3. 2液性セルフエッチングプライマーによる歯面処理が行える。 4. 単純窩洞に対するコンポジットレジン充填ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 タッフルマイヤー型リテーナーの使用方法を学修する。 セルフエッチングプライマーを用いた接着操作術式を学修する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 反転授業 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療	平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/11 (火) 4時限 14:50～16:20	保存修復実習 ー 保存修復処置の基 本的術式②ー	*⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑩う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。	平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖
2017/07/18 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義⑥ ー間接修復法ー	【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置が行えるようになるために、間接修復法の特徴と臨床術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. セラミックインレー法の特徴について説明できる。 2. セラミックインレー法の術式について説明できる。 3. メタルインレー法の特徴について説明できる。 4. メタルインレー法の術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 メタルインレー法の適応症について学修する。 メタルインレー窩洞の特徴について学修する。 準備学修時間30分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。	平山 聡司
2017/09/05 (火) 2時限 10:40～12:10	平常試験 2 保存 修復	【授業の一般目標】 修復講義④～⑥の範囲についてMCQによる試験を行う。 【準備学修項目と準備学修時間】 修復講義講義範囲④～⑥の復習 準備学修時間3時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	平山 聡司

歯内療法学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	前学期	松島 潔 (歯内療法学)

学修ユニット学修目標 (GIO)	歯の痛みや腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置を要求される。迅速に、的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法の知識、技能を習得する。4年次では、次年度の充実した臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。
担当教員	松島 潔、辻本 恭久、川島 正、岡部 達、神尾 直人、鈴木 誠、齊藤 梨紗、染谷 ひとみ、葉山 朋美、吉田 陽子、和田 健、※相浦 誠一郎、※安達 泰佑、※伊澤 真人、※上田 幾大、※大林 英美、※喜多話 規雄、※五味 博之、※斎藤 一央、※酒井 きよ美、※塩沢 督、※高瀬 俊彦、※高橋 知多香、※田中 みどり、※塚田 典功、※寺澤 秀朗、※富田 敬、中澤 弘貴、※中嶋 真樹、※長島 潔、※中沼 邦欣、馬場 俊晃、※久松 弘幸、※福田 涼子、※細谷 史規、※三浦 孝司、※村上 芳弘、※本木 平和、※山浦 賀弘
教科書	歯内治療学 第4版 中村洋、須田英明、勝海一郎、興地隆史、他 医歯薬出版 Endodontics Manual (歯内療法マニュアル) 松島潔 辻本恭久 他 歯内療法学講座
参考図書	エンドドンティクス 第4版 須田英明、中村洋、他 永末書店
評価方法 (EV)	平常試験①、②による評価 (保存学-2の1/3の評価分) , 原則的に追再試験は実施しない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にマネキン実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 松島 : matsushima.kiyoshi@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/11 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内講義①: 患者の主訴と検査法から診断を導く	<p>【授業の一般目標】 歯髄炎・根尖歯周疾患を適切に診断できるために、患者の主訴から適切な検査法を選択および診断を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①患者の訴えを説明できる。 2. ②患者の主訴から、適切な検査法を説明できる。 3. ③患者の主訴および検査結果から診断名を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎の症状を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 イ 歯髄検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ア 歯の硬組織の検査 ウ 根尖歯周組織検査 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 エ 歯内歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/18 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内講義②：処置の選択	<p>【授業の一般目標】 診断から、適切な処置を選択できるようになるために、処置の目的を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯内療法 of 適切な処置法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎の症状を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 エ 歯内歯周疾患 オ 歯の外傷 カ 内部吸収、歯根外部吸収</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 *⑦失活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。 *⑧歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。</p>	松島 潔
2017/05/02 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内平常試験①：歯内講義-①、②の範囲	<p>【授業の一般目標】 患者の訴えから、適切な処置方針が立てられるようになるために、歯内講義-①、②の範囲を習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義①、②の範囲</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 MCQタイプの試験</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p>	松島 潔
2017/05/30 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内講義③：エックス線検査	<p>【授業の一般目標】 歯内療法 of 適切な診断ができるようになるために、エックス線写真像の読み取りを習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯周囲の構造物とエックス線像の関係を説明できる。 2. ②正常像と異常増の違いを説明できる。 3. ③口内法で頬舌的位置関係の読影を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄・根尖性歯周組織疾患の成り立ちを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 コ パノラマエックス線検査 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/30 (火) 3時限 13:10~14:40	歯内講義③: エックス線検査	イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *③歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *④歯髄の構造と機能を説明できる。 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。	松島 潔
2017/05/30 (火) 4時限 14:50~16:20	歯内講義④: 歯内歯周疾患	【授業の一般目標】 歯内療法の診断を適切にできるようになるために、歯内歯周疾患を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内歯周疾患を説明できる。 2. ②歯内歯周疾患の分類を述べられる。 3. ③歯内歯周疾患の成り立ちを述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法のエックス線検査を説明できる。 根尖性歯周炎の成り立ちを説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド、プリント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 エ 歯内歯周疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】	松島 潔
2017/06/13 (火) 3時限 13:10~14:40	歯内講義⑤: 再根管治療	【授業の一般目標】 再根管治療を行うにあたり適切に診断、処置ができるようになるために、混戦制し終焉の再発およびその処置を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①再根管治療に至る原因を説明できる。 2. ②再根管治療の適応を説明できる。 3. ③再根管治療の問題点を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の治癒を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド、プリント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】	松島 潔
2017/06/13 (火) 4時限 14:50~16:20	歯内講義⑥: 歯根吸収	【授業の一般目標】 歯内療法の適切な診断、処置ができるようになるために、歯根吸収の原因、診断、処置を習得する。	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/13 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑥: 歯根吸収	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①歯根吸収の原因を述べられる。 ②歯根吸収のメカニズムを述べられる。 ③歯根吸収の対応を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 骨のリモデリングを説明できる。 破骨細胞の機能を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 カ 内部吸収、歯根外部吸収</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *⑧歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。</p>	松島 潔
2017/06/20 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑦: 根尖未完成歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 歯根未完成歯に対して適切な歯内療法ができるようになるために、アペキシフィケーション、アペキシゲネーシスについて修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根尖未完成歯の歯髄炎の処置を説明できる。 ②根尖未完成歯の根尖性歯周炎の処置を説明できる。 ③アペキシゲネーシスの治癒機転を説明できる。 ④アペキシフィケーションの治癒機転を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根尖未完成歯を説明できる。 歯髄の機能を説明できる。 セメント質、歯根膜の機能を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 キ 根尖未完成歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髄の構造と機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	松島 潔
2017/06/20 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑦: 根尖未完成歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 歯根未完成歯に対して適切な歯内療法ができるようになるために、アペキシフィケーション、アペキシゲネーシスについて修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根尖未完成歯の歯髄炎の処置を説明できる。 ②根尖未完成歯の根尖性歯周炎の処置を説明できる。 ③アペキシゲネーシスの治癒機転を説明できる。 ④アペキシフィケーションの治癒機転を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根尖未完成歯を説明できる。 歯髄の機能を説明できる。 セメント質、歯根膜の機能を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/20 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑦：根尖未完成歯の歯内療法	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 キ 根未完成歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髄の構造と機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	松島 潔
2017/06/27 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑧：歯内療法の診療の流れ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、基本的な歯内療法の術式、器具操作を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.①歯内療法の処置の選択を説明できる。 2.②歯内療法の処置方針を説明できる。 3.③歯内療法の無菌処置を説明できる。 4.④歯内療法の術式を説明できる。 5.⑤予後の評価を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本的な術式および器具操作を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ア 象牙質知覚過敏症の治療 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。 *⑤歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 *⑥歯内外科手術の種類と適応症を説明できる。</p>	松島 潔 神尾 直人
2017/06/27 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑨：歯内療法と基礎医学の関わり	<p>【授業の一般目標】 適切な診断、処置ができるようになるために、歯内療法にかかわる基礎医学を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.①歯内疾患の原因を説明できる。 2.②歯髄炎、根尖性歯周疾患の病理を説明できる。 3.③歯髄炎、根尖性歯周疾患の組織内変化を説明できる。 4.④歯髄炎、根尖性歯周疾患の痛みの伝達を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内疾患の原因となる微生物を説明できる。 炎症における病理変化を説明できる。 炎症における生化学的変化を説明できる。 痛みの伝達を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	松島 潔 岡部 達 神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/27 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑨：歯内療法と基礎医学の関わり	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 8 疼痛 ア 侵害受容性疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症 *②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 *③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 *④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 C-4-6) 疼痛 *①疼痛の種類を説明できる。【関連痛を含む】 *②疼痛の発生機序を説明できる。</p>	松島 潔 岡部 達 神尾 直人
2017/07/04 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内平常試験②：歯内講義③～⑨の範囲	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義③～⑨の範囲</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p>	松島 潔
2017/07/04 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法は無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法は無菌処置ができる。 2. ②術前の検査ができる。 3. ③ラバーダム防湿の装着ができる。 4. ④根管拡大操作ができる。 5. ⑤安全な根管洗浄ができる。 6. ⑥ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 7. ⑦適切なマスターポイント試適ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法は無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 カ 根管充填 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	松島 潔 岡部 達 神尾 直人
2017/07/18 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法は無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法は無菌処置ができる。</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 鈴木 誠

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/18 (火) 3時限 13:10~14:40	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	<p>2. ②術前の検査ができる。</p> <p>3. ③ラバーダム防湿の装着ができる。</p> <p>4. ④根管拡大操作ができる。</p> <p>5. ⑤安全な根管洗浄ができる。</p> <p>6. ⑥ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。</p> <p>7. ⑦適切なマスターポイント試適ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 カ 根管充填 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	葉山 朋美 藤谷 梨紗 染谷 ひとみ 吉田 陽子 和田 健 相浦 誠一郎 安達 泰佑 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 久松 俊晃 福田 弘幸 細谷 涼子 三浦 史規 村上 孝司 上本 芳弘 山浦 平和 山浦 賀弘
2017/07/18 (火) 4時限 14:50~16:20	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の無菌処置ができる。 2. ②術前の検査ができる。 3. ③ラバーダム防湿の装着ができる。 4. ④根管拡大操作ができる。 5. ⑤安全な根管洗浄ができる。 6. ⑥ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 7. ⑦適切なマスターポイント試適ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 カ 根管充填 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	松島 潔 辻本 久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 鈴木 誠 葉山 朋美 藤谷 梨紗 染谷 ひとみ 吉田 陽子 和田 健 相浦 誠一郎 安達 泰佑 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 久松 俊晃 福田 弘幸 細谷 涼子 三浦 史規 村上 孝司 上本 芳弘 山浦 平和 山浦 賀弘
2017/09/05 (火) 4時限 14:50~16:20	歯科保存学2 まとめ試験（歯内療法学）：歯内療法学の全般にわたる範囲	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法学の全般にわたる範囲</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 MCQタイプ試験</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/05 (火) 4時限 14:50~16:20	歯科保存学2 ま とめ試験(歯内療 法学) : 歯内療法 学の全般にわたる 範囲	【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室	松島 潔